

倉敷市合併50周年記念事業

児島地区6公民館合同 国際料理講座

倉敷市児島地区の全6公民館では、倉敷市合併50周年を記念し、また昨年の「G7倉敷市教育大臣会合」で採択された「倉敷宣言」を受け、国際料理講座をリレー形式で実施しました。外国人講師から母国の料理を教わりながらその国の話を聞き、文化に触れ、美味しい料理を楽しみました。



9/2(土) 中国 本荘公民館

先生に中国では餃子が主食であること、餃子を湯がいた湯を日本の蕎麦湯のように飲む習慣があることなどを教えていただき、とても勉強になりました。皮から作る餃子は初挑戦でしたが、おいしく作れました。



11/29(水) マレーシア 郷内公民館

マレーシアでのお祝いの日に食べるそうめん『ソーメン』、浅漬け『アチャ』、デザート『ポボチャチャ』の3品を教わりました。日本にはない食材や味付けを知り、世界を味わうことができました。



9/30(土) アメリカ 唐琴公民館

ハロウィンのおやつ『おぼけのピザ』などを作りました。先生の出身地や、アメリカでのハロウィンの様子について教えていただきました。子どもたちは英語に触れながら、楽しい時間を過ごしました。



10/22(日) ベトナム 下津井公民館

ベトナム料理『フォー、生春巻き、焼きなす、チャー』を本場の調味料を使って作りました。食べやすく美味しいと好評でした。映像を使っての講話は分かりやすく、ベトナムへの理解が深まりより身近に感じました。



10/29(日) ブラジル 児島公民館

和気あいあいとコミュニケーションを取り合いながら、ブラジル料理『パステウ』などを作りました。受講生は日本の反対側のブラジルについて興味津々の様子で、「いつかは行ってみたい!」との声が多く聞かれました。



9/14(木) フィリピン 琴浦公民館

フィリピンのお菓子『マハ ブランカ』を作りました。写真を見ながらフィリピンの伝統文化や生活をわかりやすく知ることができました。フィリピンの観光旅行をした気分になったと大好評を得ました。



【実施して】

外国人講師と受講生、また受講生同士の交流が図られました。普段食べる機会の少ない本場の外国料理を楽しみ、食を通してその国の文化を知ることができました。また、外国人講師の体験談など生の声を聴くことで、国際理解の大切さを知り、深めることができました。6公民館リレー形式で実施することで一体感が生まれ、意義のある企画となりました。

手話でこんにちは！講座



◆ねらい◆

手話を学び、習得することで、ろうあの方とのコミュニケーションを図り、交流することができるようになる。さらには、障害に対する理解を深め、障害者にも優しい町、「福祉都市かさおか」の実現を目指していく。

◆講座風景写真◆

ろうあ者である先生から、実践的な手話を学んでいます。
市長も時々参加して、一緒に勉強していますよ。



歌詞を手話で表現して歌ったり、ベテラン受講生になると、手話で絵本を語ったりできるようになります。

机上の学習だけでなく、施設訪問をするなど、課外授業も行っています。
楽しくコミュニケーションしていま～す！！



◆講座生の声◆

「ろうあの方に寄り添い、ともに生きていきたい。」という思いで、手話を楽しく勉強しています。

